

災害時の助け合いは

日頃のお付き合いから

防災シンポジウムを終えて

8月22日、『住民がつくる「自助共助」による「地区防災計画」』をテーマに防災シンポジウムが行われました。本市防災アドバイザーの室崎教授による基調講演に引き続き、パネルディスカッションでは神戸市危機管理室の中山氏、神戸市魚崎町防災福祉コミュニティの石畠氏を迎え、災害に備えるための、日頃のご近所付き合いの大切さが議論されました。その内容を紹介します。

問合先 危機管理課 ☎(275) 6247

地区防災計画とは？

各地域ごとに地域コミュニティが主体となって、避難方法や相互の支援について定めるボトムアップ型の計画

・基調講演・

「災害の時代と

地区防災計画」

これからは地域住民が地域を守る時代に

室崎氏…今後30～40年は大規模な災害の発生があたり前の時代になります。共助が重要視される今、「いざ」という時に助け合うには「快適に避難所生活を送るには」「避難時に逃げ遅れる人をゼロにするには」などを地域住民同士が「地区防災計画」として考える必要があります。自分たちの命は自分たちで守るという意識で防災対策を進めていかなければなりません。

・パネルディスカッション・

「住民主体の

地区防災計画」

行政と地域のさらなる連携をめざして



高石市長
阪口 伸六

阪口市長…本市では、第2室戸台風以後、災害の対策として芦田川の治水事業や避難訓練などさまざまな取組を行ってきました。しかし、昨年の台風21号でブルーシートの配布やがれきの処理等を行った際、情報伝達という点で課題が見えました。行政だけで動くのではなく、さらに地域の皆さんが連携を強め、改めて防災に向けた関係を作っていくことが大切です。

地域住民自らが考えて災害に備えるために

中山氏…神戸市では平成7年の阪神・淡路大震災をきっかけに、小学校区ごとに「防災福祉コミュニティ」が結成されています。各地区で地域の特性に合わせた防災活動が行われ、合計116の地区で地区防災計画が策定されています。計画は市のホームページ等にもアップされるので、地域における計画の認知度も上がり、各地域で必要な知識を共有することができそうです。計画は作って終わりではなく、常に内容を検証し、見直しを行っていくことが重要だと考えています。



兵庫県立大学 教授
室崎 益輝氏



神戸市 危機管理室
中山 徹氏



パネルディスカッションの様子

石畠氏…阪神・淡路大震災の際、魚崎町から206人の犠牲者が出てしまいました。大規模な災害が起こると、行政も被災者となり行政機能が麻痺してしまうので、自分の命は自分で守らないといけないということを学びました。また同じような災害が起こった時に地域から1人の犠牲者も出さないため、魚崎町では防災訓練や要援護者の把握はもちろん、日頃から地域のイベント等を通して顔の見える人間関係を築き、災害に強いコミュニティ作りを実践しています。



顔の見えるお付き合いが
災害時に命を救う

魚崎町事例紹介

地域での訓練

避難訓練や避難所運営の他に、災害時には統率力が必要となるため、統括リーダーの育成も行っている。災害は時間帯も天候も関係ないため、訓練は雨が降っても実施する。

要援護者支援

自治会ごとに手上げ方式で要援護者を登録する。自分が避難する時に支援してくれる人は自分で探すという方針。災害時だけではなく日頃の信頼関係が登録の増加につながる。



▲もちつき大会



▲運動会



▲盆踊り大会

日頃から地域で集まり、顔の見えるお付き合いを。



▲雨の中、防災訓練を行う様子



▲車いすの方の避難を支援する様子

◀11月5日、大津波警報発令！避難訓練で災害に備えましょう！

あなたの**避難先**はどこですか？

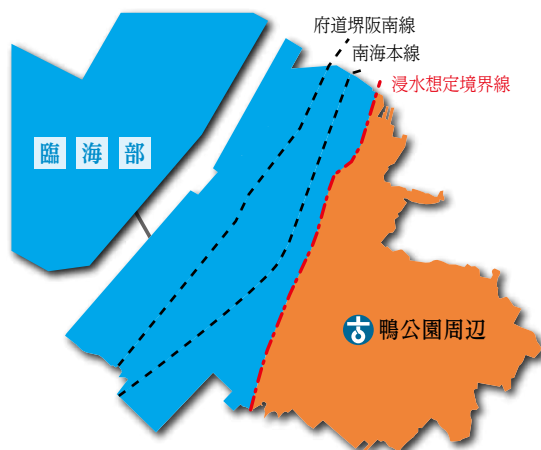
第9回 高石市地震・津波

総合避難訓練

11月5日(火)

午後1時30分
地震発生!?

問合先 危機管理課 ☎(275)6247



津波避難訓練 - 津波浸水想定区域内 -

対象区域

千代田、高師浜、加茂、
綾園、羽衣、東羽衣の一部

南海トラフ巨大地震が発生すると、本市では地震発生約 100 分後に最大 5mの津波が到達すると想定されています。津波警報等が発表されたら、いち早く津波浸水想定区域外へ脱出し、鴨公園をめざして避難してください。また、津波浸水想定区域外への避難が難しい場合は、津波避難ビル等へ避難してください。

直下型地震訓練 - 津波浸水想定区域外 -

対象区域

西取石、取石、東羽衣の一部

地震発生後、身の安全を確保し、取石小学校・取石中学校へ避難してください。直下型地震では、「同時多発火災」による被害が最も危険とされています。同時多発的に発生する火災は被害の拡大が早く、早い段階での消火が重要です。取石小学校では、直下型地震による火災を想定し、避難訓練後、初期消火訓練を実施します。



地域を災害から守るために

消防団員を募集しています

高石市消防団は、普段はそれぞれの仕事や活動を持ちながら、市民を対象に救命講習や初期消火指導などを行い、また災害が発生したときには、避難の呼びかけや誘導、救助、消火などを行う市民による地域防災の中核となる組織です。私たちのまちの安全安心のため、消防団活動への参加をお願いします。

対象 市内在住または在勤で 18 歳以上の方

申込・問合先 危機管理課 ☎(275)6247